

Together

たじみ男女共同参画情報紙

2026年3月

第40号

共に生き、共に歩む



「たじみ男女共同参画情報紙 Together」は、みなさまに男女共同参画に関する情報提供を
すると共に、一緒に考え、作っていくみんなの情報紙を目指しています。あなたらしさ、
わたしらしさ、個性が発揮できる社会、男女共同参画社会の実現に向け一緒に考えていきま
しょう。

開催
しました！

男女共同参画推進条例20周年記念講演会



多様な生き方を認め合う社会へ

—誰もが輝けるまちを目指して—

「男らしさ」「女らしさ」の前に「自分らしさ」を大切にできる社会へ

講師 小島慶子氏 エッセイスト、メディアパーソナリティ



令和7年11月24日（祝日）にバロー文化ホールに
て、講演会を開催しました。小島さんは、メディアでの
仕事や海外生活の経験を通して、無意識のうちに刷り込
まれてきたジェンダー規範に気づいたことが、ジェン
ダーについて深く考えるきっかけになったと語りまし
た。講演のポイントを紹介します。

ジェンダーは「社会が つくる性別のイメージ」

性別による役割や期待は文化や
時代によって変わるものであり、
「男だから」「女だから」という
固定観念は、無意識の思い込みや
自分や他人の可能性を制限してし
まう、生きづらさを生むことがあ
ると指摘しました。

無意識の刷り込みに 気づくことから始まる

講演では、自身のオーストラリ
アでの移住等経験を通して、「自
分の属性（マジョリティからマイ
ノリティ）が変わると見える景色
も変わる。自分の中の思い込みに
気づくことが、誰もが生きやすい
社会につながる」と語りました。

固定観念から 自由になるために

講演の最後には、ジェンダー
の刷り込みが差別や暴力につな
がることもあると述べ、「自分
自身の価値観を見直し、固定観
念から自由になることが大切」
と参加者に呼びかけました。

～参加者アンケートの声～

「男女共同参画」
を、自分事として捉
えられた。違いを認
め合う社会は、自分
にも周りにも優しく
なれると感じた。

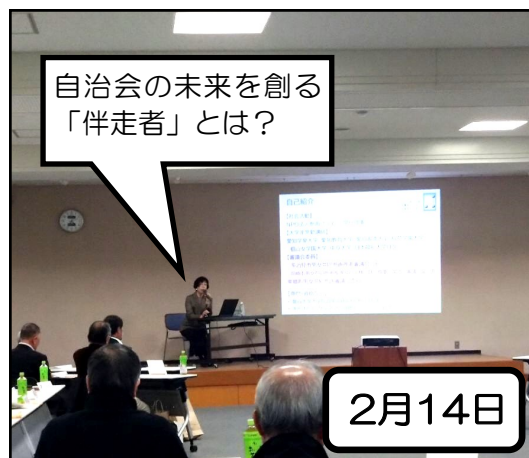
マイノリティの立場
を想像する感覚を大
切にしたい。これか
らの生活や人との接
し方に活かしてい
きたい。

会場の質問に本音で
答えてくれた姿に感
動した。温かい人柄
が伝わる講演会だっ
た。



開催
しました!!

「まなぶ」機会を持ちました



市職員研修 意識改革

「若者、女性に選ばれる地域づくり」
山本 恵子 氏
ジャーナリスト、元NHK解説委員

講演内容

- ◆ 20代女性の転出超過の背景に、性別役割意識や仕事のミスマッチがある
- ◆ 組織の同質性が意思決定を偏らせる
- ◆ 男性も昭和モデルの被害者であり、共に育む「共育」・ウェルビーイングが鍵
- ◆ 管理職は「支配者」ではなく「伴走者」になる時代
- ◆ 職員一人ひとりの意識改革が必要

感想 「男女共同参画は女性のためだけだと思っていたけれど、男性の家庭参画や働き方を見直すこともあると気づけた」
「性別役割分担の意識が改まった」

区長会研修 地域を変える

「女性の参画で変わる自治会の未来」
中村奈津子 氏
多治見市男女共同参画推進審議会会長

講演内容

- ◆ 時代の流れで、教育格差が縮まり、共働きが前提の社会へ
- ◆ 若い女性が地元を離れる理由は、「干渉」「古い役割意識」
- ◆ 女性区長の割合は、岐阜県平均で5.1%と低い。
- ◆ 地域づくりの鍵は、役割分担の見直し、女性リーダーの育成、活躍できる場づくり

感想 「実は男性こそが『稼がねば、弱音を吐いてはならぬ』という固定観念に縛られ、地域や家庭での居場所を失っていたのではないかとハッとさせられました」

性暴力や性被害に関する専門の相談窓口 24時間対応・通話料無料

1.性暴力ワンストップ支援センター

☎ #8891 はやくワンストップ

2.DV相談プラス

☎ 0120-279-889
つなぐ・はやく



発行：多治見市役所環境文化部くらし人権課 人権グループ

〒507-8703 多治見市日ノ出町2丁目15番地

電話 0572-22-1128 (直通) FAX 0572-25-7233

E-mail : kurashi-jinken@city.tajimi.lg.jp